資料４

第３次　多摩市みどりと環境基本計画の進行管理（案）

計画の位置づけ

「多摩市環境基本条例」　第８条に基づき策定

「多摩市総合計画」の下位計画

多摩市の環境の維持向上を推進する上で、最も基本となるもの

計画の期間

21世紀半ば（令和32〔2050〕年度）を展望

令和６（2024）～15（2033）年度までの10年間

第六次多摩市総合計画

○将来都市像

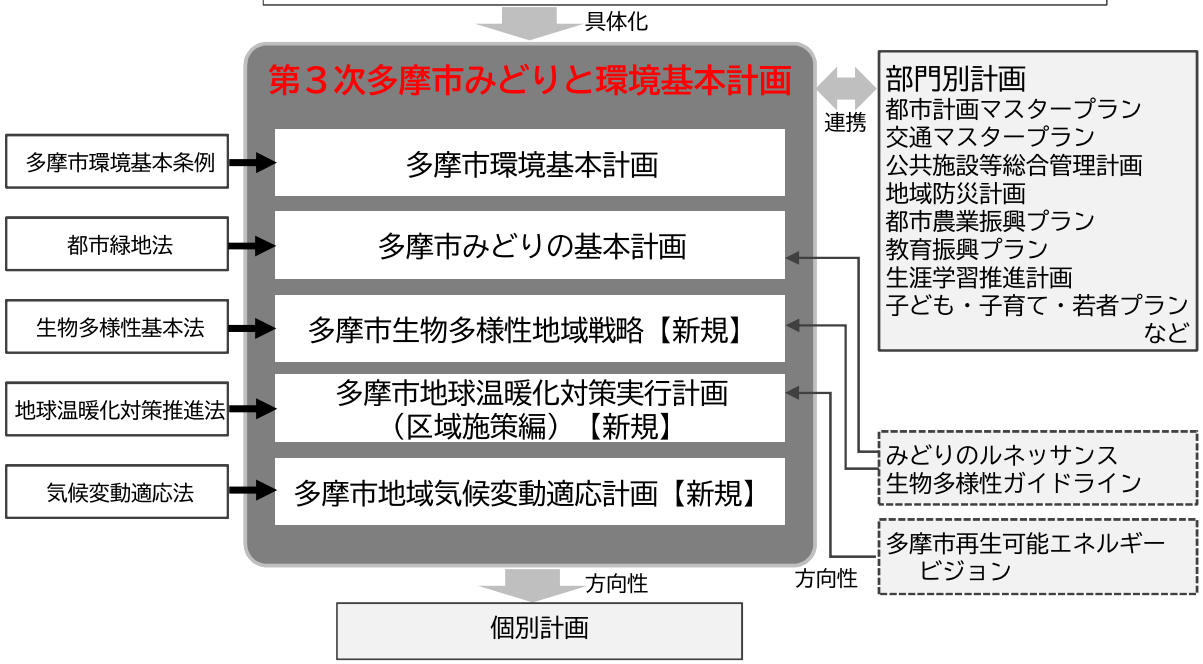
「つながり 支え 認め合い いきいきと かがやけるまち」

○分野横断的に取り組むべき重点テーマ

環境との共生	健幸まちづくりの推進	活力・にぎわいの創出

○分野別の目指すまちの姿

1 子どもの成長をみんなで支え、ともに生きるまち
2 支え合いのなかで、いつまでも安心して暮らせるまち
3 地域で学び合い、活動し、交流しているまち
4 みんながいきいきと働き、集い、活気と魅力あふれるまち
5 みんなが安心して快適に住み続けられるまち
6 地球にやさしく、水とみどりとくらしが調和したまち



本計画の評価と見直しのタイミング

評価

見直し

計画の基本理念	環境基本条例の基本理念に基づき、計画の基本理念を設定
めざす環境像	「計画の基本理念」をイメージ化したもの
長期目標	めざす環境像を具体化するために、令和32（2050）年度における多摩市の環境・社会のイメージを表すもので、市民、事業者、市民団体等及び市に共通する目標
短期目標	長期目標の実現に向けて、市民、事業者、市民団体等及び市の協働により、令和15（2033）年度に達成をめざす目標と、短期目標の達成度や施策の進捗状況を管理するための“ものさし”となる「管理指標」
重点戦略と分野横断的取組	地域の課題解決やまちの価値創造にも貢献する取組みに力を入れていく「着眼点」と、それに沿って市民・事業者・市が協働し、分野横断で取り組むべき内容を示す「分野横断的取組」 重点戦略と分野横断的取組
分野別の取組み	短期目標の達成に向けて、各分野で市民（市民団体等）、事業者及び市の役割において取り組んでいくための「取組方針」と、その内容を示す「取組項目」

自然環境分野	生活環境分野	地球環境分野	環境活動分野
取組方針	取組方針	取組方針	取組方針
取組項目	取組項目	取組項目	取組項目

5年後

毎年度

毎年度

毎年度の評価していくもの

評価対象	管理指標	実績の入力		評価の入力		評価補足の入力	
		入力内容	入力担当	入力内容	入力担当	入力内容	入力担当
短期目標 （４つの専門分野）	環境指標 （令和15年度の目標値）	実績値	関係課	進捗	環境政策課	進捗状況の分析	関係課
重点戦略 （５つの着眼点）	活動指標 （令和15年度の目標値）	実績値	関係課	進捗	環境政策課	進捗状況の分析	関係課
分野横断的取組 （着眼点ごとの取組※行政のみ）	―	取組内容	関係課	短期目標及び着眼点に対する貢献	関係課	評価の理由 及び 取組の見直し方針	関係課
分野別の取組方針 （専門分野ごとの取組方針）	活動指標 （令和15年度の目標値）	実績値	関係課	進捗	環境政策課	進捗状況の分析	関係課
分野別の取組項目 （取組方針ごとの取組項目※行政のみ）	―	取組内容	関係課	短期目標及取組方針に対する貢献	関係課	評価の理由 及び 取組の見直し方針	関係課

毎年度の評価　短期目標

短期目標

各環境指標についての進捗状況で評価　「↑」「→」「↓」

短期目標	環境指標	基準値（年度）	実績値（令和6年度～令和10年度）					目標値（令和15年度）	進捗	進捗状況の分析
			６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度			
自然と暮らしが調和した多摩のみどりづくり	生物多様性の拠点（３地点）の在来生物の種類数【定性指標】	―						維持又は増やす（指標種の設定についても検討）		
	みどり率	50%（令和元年度）						維持		
	水辺・公園緑地の環境に対する市民満足度	50.4%（令和3年度）						60%		

目標値と実績値を比較し、
次の３つのいずれかで評価。

↑　→　↓

毎年度の評価　重点戦略

重点戦略

各活動指標のついての進捗状況で評価　「↑」「→」「↓」

重点戦略	活動指標		基準値（年度）	実績値（令和6年度～令和10年度）					目標値（令和15年度）	進捗	進捗状況の分析
				６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度			
着眼点１ 気候危機への対策を通じた安全安心で持続可能なまちづくり	市民事業者	世帯当たり二酸化炭素（CO_2）排出量（家庭部門）（kg-CO_2/世帯）	2,548kg-CO_2/世帯(令和2年度)						1,097 kg-CO_2/世帯		
	市民事業者	世帯当たりエネルギー消費量（家庭部門）（GJ/世帯）	31GJ/世帯(令和2年度)						20GJ/世帯		
	行政	市施設における二酸化炭素（CO_2）排出量（kg-CO_2）	8,821,485kg-CO_2(令和4年度)						5,317,882 kg-CO_2		
	行政	市施設における電気使用量（kWh）	15,816,813 kWh(令和4年度)						13,809,764kWh		
	行政	（仮称）多摩市下水道総合治水対策方針の策定【定性指標】	―						計画を策定し進捗管理を行う		

目標値と実績値を比較し、
次の３つのいずれかで評価。

↑　→　↓

毎年度の評価　分野横断的取組（行政）

分野横断的取組（行政）

短期目標、着眼点に対する貢献で評価　「〇」「△」「×」

分野横断的取組			令和〇年度の取組		短期目標、着眼点に対する貢献	
			有無	有：取組内容　　無：理由	評価	評価の理由及び取組の見直し方針
【１－１】住宅・建築物の脱炭素化	省エネ機器等の導入補助、補助制度の拡充・創設〈拡充〉	地球温暖化対策担当				
	ZEH、ZEH－M、ZEBの普及促進〈新規〉	地球温暖化対策担当				
		都市計画課				

各取組項目について、短期目標・取組方針に対する貢献を、環境指標、行政活動指標の進捗を踏まえ、「〇」「△」「×」で評価する。

「〇」：貢献した。
「△」：評価不能。
「×」：貢献していない。

各取組項目の実施の有無について、「有」「無」のいずれかを記入する。

評価の理由を記入するほか、評価を踏まえて取組の見直しをする場合はその内容を具体的に記入し、見直しをしない場合はその旨を記入する。

毎年度の評価　分野別の取組み（取組方針）

分野別の取組み（取組方針）

各活動指標のついての進捗状況で評価　「↑」「→」「↓」

取組方針	活動指標		基準値（年度）	実績値（令和6年度～令和10年度）					目標値	進捗	進捗状況の分析
				６年度	７年度	８年度	９年度	１０年度	（令和15年度）		
G：省エネルギーの推進 H：再生可能エネルギーの利用拡大	市民 事業者	世帯当たり二酸化炭素CO_2）排出量（家庭部門）【重点戦略】（オール東京提供データ）	2,548kg-CO_2/世帯（令和2年度）						1,097 kg-CO_2/世帯		
	市民 事業者	世帯当たりエネルギー消費量（家庭部門）【重点戦略】（オール東京提供データ）	31GJ/世帯（令和2年度）						20GJ/世帯		
	行政	市内における二酸化炭素（CO_2）排出量【重点戦略】	8,821,485 kg-CO_2（令和4年度）						5,317,882 kg-CO_2		
	行政	市施設における電気使用量【重点戦略】	15,816,813 kWh（令和4年度）						13,809,764kWh		

目標値と実績値を比較し、
次の３つのいずれかで評価。

↑　→　↓

毎年度の評価　分野別の取組み（行政）

分野別の取組み（行政）

短期目標、取組方針に対する貢献で評価　「〇」「△」「×」

取組項目				令和〇年度の取組		短期目標・取組方針に対する貢献	
				有無	有：取組内容　無：理由	評価	評価の理由及び取組の見直し方針
G１	家庭・事業所での省エネルギー行動の推進	省エネルギーの実践 日常生活や事業活動での省エネルギーの取組み、関係法令・制度について情報提供・啓発します。	**地球温暖化対策担当**				
		みどりによる省エネルギー活動の推進 公共施設では、緑化やグリーンカーテンづくりを行います。	**地球温暖化対策担当**				
			環境政策課				
G２	省エネルギー型の設備や機器の導入〈拡充〉	省エネルギー型の設備や機器の導入 家庭での高効率空調やLED照明、高効率給湯器、ノンフロン冷蔵庫などへの買い替えについて情報提供・啓発します。街路灯（ナトリウム灯）のLED照明への切り替えを促進します。	**地球温暖化対策担当**				
		公共施設の省エネ推進〈新規〉 公共施設では、更新等の機会を捉え、省エネルギー効果の高い設備・機器に切り替えます。	**地球温暖化対策担当**				
			施設保全課 各施設所管課				

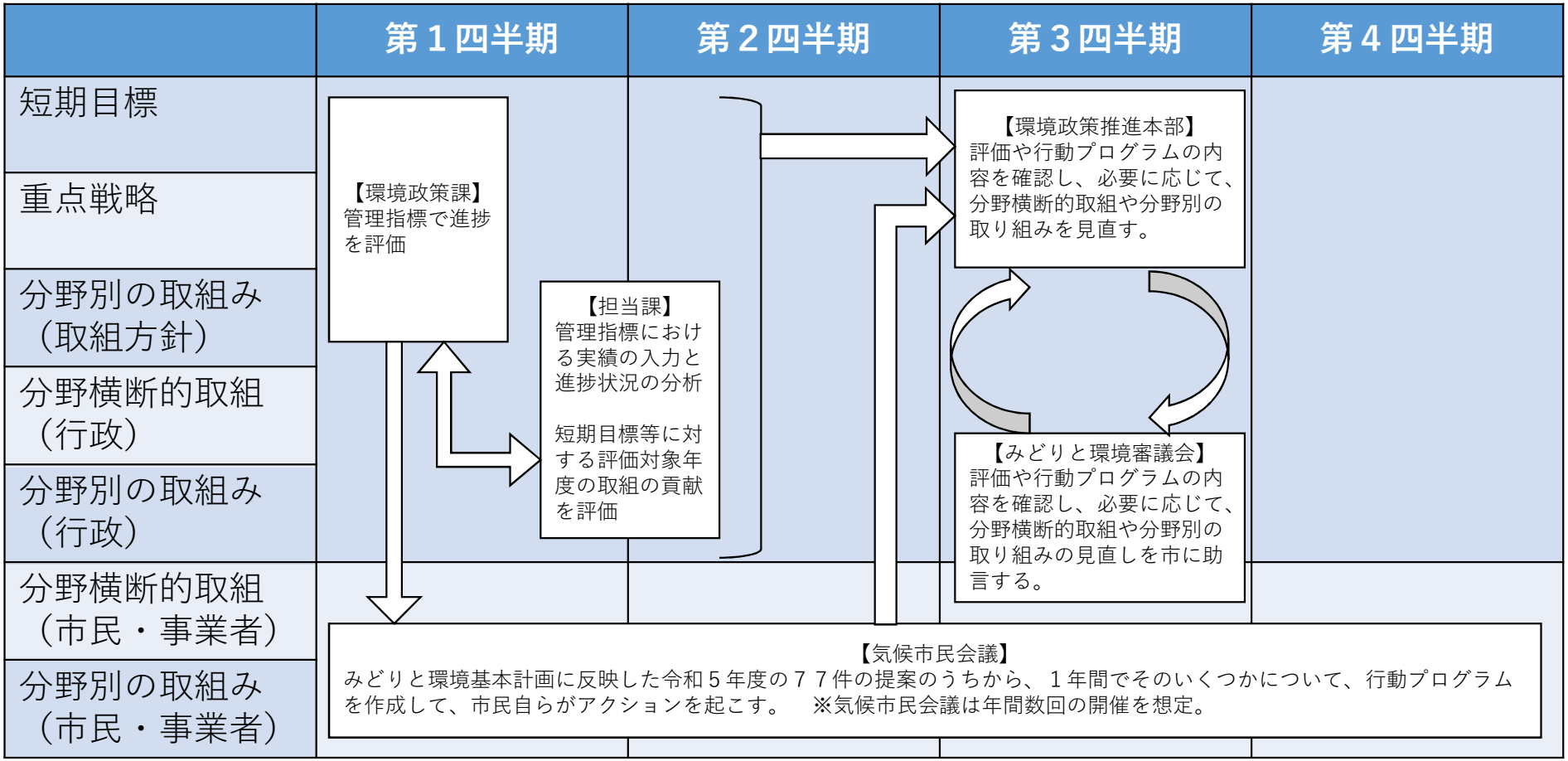
各取組項目について、短期目標・取組方針に対する貢献を、環境指標、行政活動指標の進捗を踏まえ、「〇」「△」「×」で評価する。

「〇」：貢献した。
「△」：評価不能。
「×」：貢献していない。

各取組項目の実施の有無について、「有」「無」のいずれかを記入する。

評価の理由を記入するほか、評価を踏まえて取組の見直しをする場合はその内容を具体的に記入し、見直しをしない場合はその旨を記入する。

毎年度の評価と見直しの流れ



分野横断的取組（市民・事業者）の見直し

分野横断的取組
（市民・事業者）

行動プログラムの内容を踏まえ分野横断的取組を見直す

分野横断的取組				見直しの方向性	見直しの内容
【1－1】住宅・建築物の脱炭素化	市民	住宅を新築、改築する際は、壁・床・屋根・窓の断熱や省エネ性能の高い空調・換気・給湯・照明の導入、太陽光発電設備の設置など、脱炭素化を目指した建築を検討します。			
	事業者	事業所の建物や工場を新築、改築する際は、壁・床・屋根・窓の断熱や省エネ性能の高い空調・換気・給湯・照明の導入、太陽光発電設備の設置、エネルギーマネジメントシステムの導入など、脱炭素化を目指した建築を検討します。			
	気候市民会議の取組提案（市民・事業者向け）				
		大項目	小項目	行動プログラムの有無	行動プログラムの内容
		p.照明、家電や電気機器を省エネ対応のものへ適切に交換し、エネルギー効率が良い住まいにする	電気などの無駄遣いを解決する手法の 1つとして、公共施設等をモデルとし、先行して行う		

行動プログラムの内容を踏まえ、「見直し」「現状維持」のいずれかを記入する。

行動プログラムの有無について、「有」「無」のいずれかを記入する。

分野別の取組み（市民・事業者）の見直し

分野別の取組み（市民・事業者）

行動プログラムの内容を踏まえ分野別の取組みを見直す

取組項目			見直しの方向性	見直しの内容
G１ 家庭・事業所での省エネルギー行動の推進	市民	節電や節水、エコドライブ、公共交通機関の利用など、省エネルギー型のライフスタイルの実践に努めます。		
	市民	自宅の庭やベランダでグリーンカーテンに取り組みます。		
	市民	市の広報や公式ホームページなどから環境情報の収集に努め、地球温暖化やエネルギー問題などへの理解を深めます。		
	市民	市民団体等は、市と連携して、省エネルギーの推進に向けた普及啓発に努めます。		
	事業者	電気・ガス・水・ガソリンなどの使用料削減に努め、省エネルギー型のワーキングスタイルを実践します。		
	事業者	従業員の環境教育の実施や講演会などへの参加により、環境問題への理解を深め、環境配慮意識の向上を図ります。		
	気候市民会議の取組提案（市民・事業者向け）			
	大項目	小項目	行動プログラムの有無	行動プログラムの内容
	o.電気や水道水などの無駄遣いにつながる行動をなくす	行動を無くすための意識・心がけをする		
		電気のつけっぱなしをしない		
		水を出しっぱなしにしない		
	s.グリーンカーテンや葦簀（よしず）、打ち水やミストなどを活用し、エアコンの温度を上げることで住まいのエネルギー効率を上げる	太陽光を遮って部屋の温度を下げる。育てることにより、自然への気づきを得る		
		蜂が巣をつくる課題もあるが、葦簀（よしず）など管理しやすいものを活用する		
	z.省エネ＋蓄エネの取組を進める	グリーンカーテンの取組を進める		

行動プログラムの内容を踏まえ、「見直し」「現状維持」のいずれかを記入する。

行動プログラムの有無について、「有」「無」のいずれかを記入する。

まとめ～計画開始から５年後までの進行管理（毎年度の取組の評価と見直し）～

評価等	短期目標 重点戦略 分野別の取組み（取組方針）	各管理指標についての進捗状況で評価
	分野横断的取組（行政） 分野別の取組み（行政）	短期目標等に対する貢献で評価
	分野横断的取組（市民・事業者） 分野別の取組み（市民・事業者）	気候市民会議が行動プログラムを作成
見直し	環境政策推進本部	評価や行動プログラムの内容を確認し、必要に応じて、分野横断的取組や分野別の取り組みを見直す。
	みどりと環境審議会	評価や行動プログラムの内容を確認し、必要に応じて、分野横断的取組や分野別の取り組みを市に助言する。